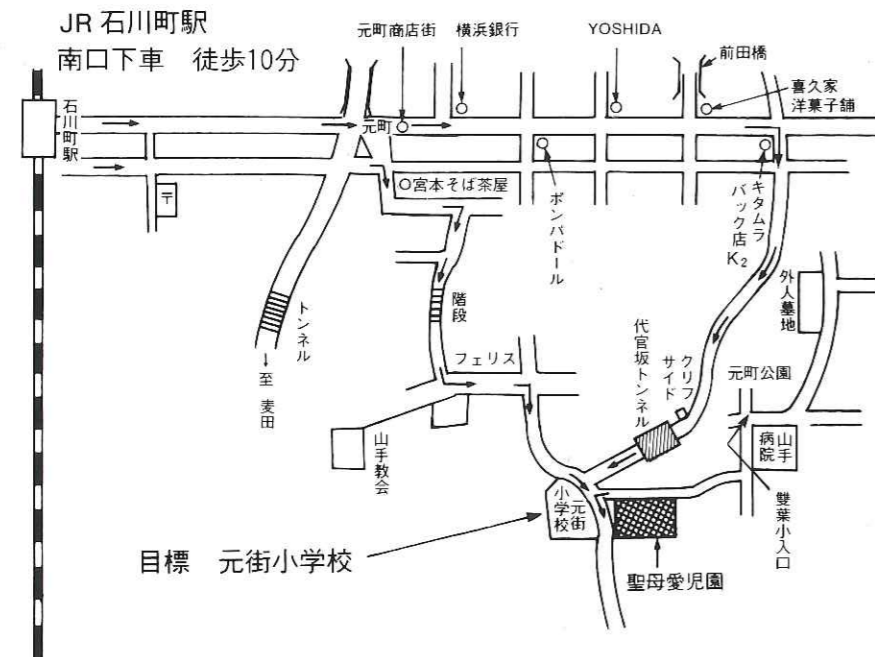
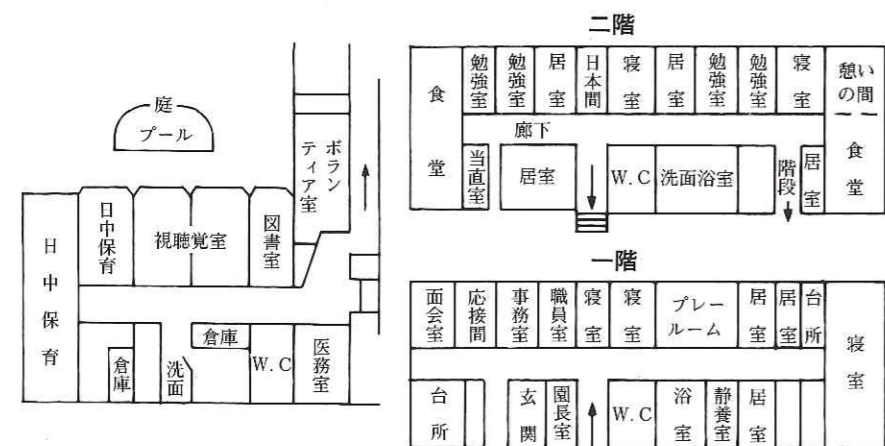


交通案内



施設案内



施設の目的

当園は児童福祉法に基づく施設であり、満18才未満の保護者のいない児童、虐待されている児童、親の病気、その他環境上養護を必要とする児童を児童相談所を通して入所させ養育し、発達活動を見守り、心身共に、健全な社会のひとりとして育成する。

方針

キリスト教精神に基づき、明るい雰囲気の中に一人一人の個性を尊重し、児童のもっている素質を十分に伸ばす様にとめる。

施設の概要

施設認可年月日	乳児施設 昭和21年4月1日
	養護施設 昭和25年4月1日
経営主体	社会福祉法人 聖母会
定員	70名
規模	敷地 5,227.04㎡
	建物 1,342.56㎡
	(本館 501.34)
	(新館 496.66)
構造	鉄筋コンクリート3階建 本館、新館

法人の概要

名称	社会福祉法人 聖母会
事務所	東京都世田谷区瀬田4-16-2
	TEL 03 (3709) 6711~2
事業	養護施設 (北海道、横浜)
	保育施設 (横浜、新潟、種ヶ島)
	老人施設 (東京、横浜、熊本、奄美)
	医療施設 (北海道・東京)

社会福祉法人 聖母会
養護施設

聖母愛児園



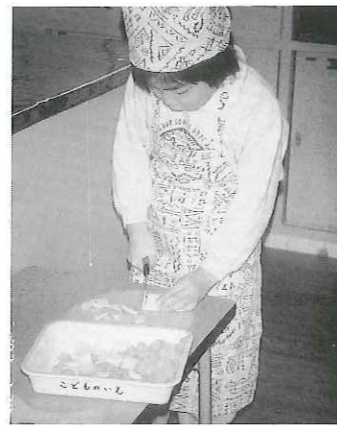
〒231 横浜市中区山手町68番地
TEL 横浜 (045) 662-8338
FAX (045) 663-2704

社会福祉法人聖母会の前身大和奉仕会は、明治38年以来マリアの宣教師フランシスコ修道女会の活動によって、各種の福祉事業を続けてきたもので、横浜一般病院（現山手病院）もその一つであった。



子供の家のひととき

子供たちよ！
わき目もふらず、誰も気にせず、深く専心して何かをやると、人がそれをみて笑うかも知れない。損をするかも知れない。



まわりが迷惑があるかも知れない。しかし……
本当の喜びは
そこからでてる。



あそび、語らい……仲よし……

わき目もふらず、誰も気にせず自分の足もとを掘っていくと、そこにつきることのない泉が湧く、生きるということは、掘りつづけること!!



プールあそび



夏のキャンプ

毎日の園の生活、年間行事を通じて健全な精神を培い、健康で人間性豊かな社会人となるよう、職員が生活全般、勉学等の指導をしている。



秋の運動会

■施設のあゆみ

- 終戦後の社会状況の急変により、孤児、棄子が増加し、
- 昭和21年 4月 横浜市中区山手町82番地、横浜一般病院の一角を利用して、収容、保護に当たったのが始まりとなった。
 - 昭和21年 9月 神奈川県当局の支援により、横浜市中区山手町68番地に乳児院を新設、名称を聖母愛児園として独立。初代園長は、大和奉仕会々員ルゼヌ・アンナ・マリーが就任。
 - 昭和25年 4月 収容児の成長、増加に伴い、養護施設も認可を受ける。
 - 昭和31年 8月 鉄筋コンクリート三階建着工、翌年 3月完成。
 - 昭和40年 8月 鉄筋コンクリート三階建、幼児棟、職員宿舍増築着工、翌年 5月完成。
 - 昭和45年10月 災害に備えて、避難階段、すべり台、バルコニーを増設、窓サッシの一部改修
厨房工事、食品倉庫の新築
 - 昭和49年 3月 学童風呂場改修工事着工。
49年 7月完成。
 - 昭和52年 3月 乳児減少のため、乳児院閉鎖。
現在にいたる。



七五三のお祝い

思い出… 喜び… 成長…



クリスマス会